

農村との交流

中央地区では、丹波市の久下地区とお互いのコミュニティの活性化などを目的とした都市・農村交流事業を行っています。その一環として、毎年中央地区の子ども会の方々と一緒に久下地区の畑へ行き、サツマイモや黒豆の収穫を体験しています。採れたての黒豆を塩ゆでしたものは大粒でふつくらとして子どもたちに大人気です。これまで参加した皆さんからは「野菜がたくさんとれて良かった」との声も。



本市では、地域での学びや交流の機会を増やす中で、共に学んだことが活動や新たな学びにつながっていく地域づくりを目指しています。

このコーナーでは、市内6地区で行われている取り組みや活動の様子などを各地域課から紹介していきます。

各地区からのお知らせ



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により久下地区での収穫体験は中止しましたが、10月17日に同地区の皆さんが、収穫した野菜を中央北生涯学習プラザまで持って来てくれました！「丹波のとれたて新鮮野菜市」として同プラザでサツマイモ、栗、黒豆などの秋の味覚やゴーヤ、お米を販売し、購入した人からは「新鮮な野菜が安く買えてうれしい」と大好評。多くの人に来ていただき、1時間ほどで完売しました。来年は、子ども会の方々と収穫に行きますよっ！

